

富山大学
教育研究実践総合センター紀要

教育実践研究

第18号

令和6年1月

目次

論文

- 中学生の本来感が食行動の異常傾向に及ぼす影響
.....田尾 晴香・石津憲一郎 1
- 中学生の自己愛傾向と学校ストレスが教師への援助要請に及ぼす影響
.....飯塚 沙英・石津憲一郎 11
- 中学校社会科歴史的分野における「選択の基準」を設定した討論型学習の開発
—鑑真を「選択の基準」に奈良時代を大観する—
.....坂田 元丈 21
- 幼児期の「わからない」反応の縦断的变化
—「推測の自覚化」メカニズムの検証—
.....近藤 龍彰 31
- 特別支援学校における連絡帳を通じた保護者支援
—困った行動の低減を目的とした応用行動分析学に基づく支援の効果—
.....宮崎 光明 41

報告

- 消費生活に関する高校生の知識及び意識の実態と消費者教育の効果について
—成年年齢引き下げを受けて実施した出前講座の結果から—
.....石倉 琴音・藤本 孝子 51

資料

- 高校生はアクティブ・ラーニングについてどのように感じているか
.....小澤 郁美・小原 弘幸 57

富山大学教育学部附属教育研究実践総合センター紀要投稿要項

令和4年4月1日制定

令和4年6月27日改正

1 紀要編集

センター紀要編集委員会（「以下「委員会」という。」）では、教育学部附属教育研究実践総合センター（以下「センター」という。）の紀要として、毎年度に1号の原稿を募集し、編集を行う。

2 著者の資格

- (1) 教育学部（以下「学部」という。）に専任配置される教員
- (2) 大学院教職実践開発研究科（以下「研究科」という。）に専任配置される教員
- (3) 学部附属学校園の専任教員
- (4) 委員会が認めた者、学部及び研究科に専任配置される教員との連名で投稿する者

3 原稿の内容

- (1) 投稿原稿は、未発表のものとする。
- (2) 教育実践にかかわる理論的実践的研究に関する論文、報告、資料、その他とする。
 - ①論文とは、新たな発見また見解を示した研究成果を論述したものをいう。
 - ②報告とは、授業実践報告などをいう。
 - ③資料とは、研究レビューや紹介、総説などをいう。
 - ④その他とは、上記①から③以外のものをいい、著者が投稿の際にその名称を申告する。
- (3) 著者は、原稿の種類（論文、報告、資料、その他）を申告する。
- (4) 著者は、原稿枚数が別に定める基準を超える場合には、原則として経費を負担するものとする。

4 投稿と受領

- (1) 原稿の締め切り日は、8月31日とする。但し、その日が土曜日の場合は、翌々日、日曜日の場合は、翌日とする。
- (2) 原稿、投稿カードを、センター事務室に提出する。

5 原稿の受付

- (1) 本委員会では、投稿された原稿について、本要項と執筆要項に照らしてその要件を満たしているならば、受け付ける。

6 修正と受理

- (1) 本委員会では、受け付けた原稿について査読する。
- (2) 前項の査読については、専門性等を考慮し、複数人で行うものとする。また、本委員会外にも意見を求めることができる。

- (3) 本委員会は、原稿の訂正を著者に求めることができる。
- (4) 原稿の採否は、本委員会が決定する。
- (5) 本委員会で採用を決定した年月日をもって、受理年月日とする。

7 校正

- (1) 校正は、著者の責任において所定の期間までに、初校及び再校を行う。
- (2) 校正時における原稿の修正は認めない。
- (3) 三校以降は、委員会の責任で行う。

8 二次利用

掲載された原稿の二次利用は、本委員会に委ねるものとする。

附 則

この要項は、令和4年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、令和4年6月27日から施行する。

富山大学教育学部附属教育研究実践総合センター紀要執筆要項

令和4年4月1日制定

1 原稿の形式

- (1) 1篇として成立し、分割されていないものとする。
- (2) 言語は原則として日本語、英語とし、その他紀要編集委員会で認めるものとする。
- (3) 母国語以外を用いるときは、校閲を受けることが望ましく、著者より依頼する。
- (4) 現行の表記法を用いる。
- (5) 単位、及び単位記号は、原則としてM.K.S単位系を用いる。

2 原稿の書式と体裁

- (1) 1篇につき、図・表・写真等を含め、刷り上り14頁以内とする。やむを得ず制限を超える場合は著者の負担で掲載を認める。
- (2) 原稿の体裁は、書式見本（別紙）を基本とする。
- (3) 上記が困難な場合は、A4判用紙に32字×25行で印字する。図表がある場合は、そのまま印刷可能なものを添付すること。
- (4) 投稿論文数は、筆頭者1人につき、各号1篇とする。筆頭者による2篇以上の投稿については、編集委員会が審議して掲載の可否を決め、第2篇からは著者の負担で掲載を認める。

附 則

この要項は、令和4年4月1日から施行する。

富山大学教育研究実践総合センター紀要
教育実践研究 編集委員会

委員長 上 山 輝
委員 石 津 憲一郎
小 澤 郁 美
片 岡 弘
近 藤 龍 彰
多 賀 秀 紀
高 橋 満 彦
野 田 秀 孝
長谷川 春 生
宮 一 志
安 本 史 恵

富山大学教育研究実践総合センター紀要
教育実践研究 第18号

令和6年1月22日 発行

編集兼 富山大学教育学部附属
発行者 教育研究実践総合センター
〒930-8555 富山市五福3 1 9 0
TEL (076) 445-6380
印刷所 株式会社なかたに印刷
〒939-2741 富山市婦中町中名1554-23
TEL (076) 465-2341

“*KYOIKU JISSEN KENKYU*”

BULLETIN OF THE CENTER OF EDUCATIONAL RESEARCH AND PRACTICE UNIVERSITY OF TOYAMA

No. 18

January, 2024

CONTENTS

Original Article

Influence of sense of authenticity on abnormal tendencies of eating behavior:

Towards educational support for thin desire and overeating in adolescents.

..... Haruka TAO, Kenichiro ISHIZU 1

Effects of narcissistic tendencies and school stressors on teachers' requests for help in junior high school students

..... Sae IIZUKA, Kenichiro ISHIZU 11

Development of Discussion-Based Learning Method That Set “Criteria for Selection”

in Junior High School Social Studies in Historical Field

—Taking an Overview of the *Nara* Period by “Criteria for Selection” from *Ganjin's* Way of Life—

..... Genjo SAKATA 21

Longitudinal Changes of “I Don't Know” Response in Preschool Children

—Verification of the “Aware of Guessing” Mechanism—

..... Tatsuaki KONDO 31

Support for Parents through a Contact Book in a Special Needs School: Effects of Support

Based on Applied Behavior Analysis for the Purpose of Reducing Behavior Problems

..... Mitsuaki MIYAZAKI 41

Report

Reality of High School Students' Consumer Knowledge and Effects of Consumer Education

—Based on Results of Lectures Held in Response to the Lowering Age of Majority—

..... Kotone ISHIKURA, Takako FUJIMOTO 51

Material

Opinions of High School Students about Active Learning

..... Ikumi OZAWA, Hiroyuki OHARA 57